

二宮町まちづくり評価委員会

4. 戦略的行政運営

①各委員からの意見

- ・行政の施策を横へつなげる方法を考える必要がある。
- ・改善ではなく改革、問題意識ではなく行動に移していく必要がある。各部署が何のために住民に必要とされているか。町は町民に何を求められて存在しているのかを具体的に考えて形にしていくことが大事。それによって町民からも、良いまちづくりに繋がる動きが起こる。
- ・行政は住民の喜びを目指し、本音で住民と語り合う必要がある。
- ・縦割りとして行っている項目の評価は良いが、横断的に取り組みをしていく必要がある。
- ・意見をすべて受け入れようとして矛盾が生じているため、八方美人に見える。
- ・優先順位をつけて政策を実施する必要がある。
- ・政策のやり方に工夫が必要である。政策として8割は決まり事の素材、2割の二宮町独自の味付けをどうしていくかが大事。
- ・行政と住民の線引きを明確化することで、行政側でやっていることを住民に任せられる状況を作ると良い。
- ・任せるところは任せ、任せただけでなく、知恵を出して進める。考えることを押し付けるのではなく、方法を説明し、やってもらう。
- ・町民参加の推進には、行政のコミュニケーション能力の向上が必要。
- ・二宮町の産業構造を把握し、町単独で考えるのではなく、周辺の市町村と連携し、広域で考える必要がある。市町村の枠を取り払って広域行政を行うことも重要。
- ・単体の力は限界がある。総合力を出すためのネットワークづくりを行う時代になってきている。

②まちづくり評価委員会としての意見

評価指標	
	<p>戦略的行政運営として政策を引き続き進めるということは必要と考える。</p> <p>行政運営を戦略的に進めるには、縦割りではなく横断的に施策を進める必要があり、全ての施策を平均的に実施するのではなく、優先順位をつけることも重要である。また、周辺の市町村と連携し、広域行政を推進することも重要となる。</p> <p>行政は住民の喜びを目指し、本音で住民と語り合い、各部署が何のために住民に必要とされ、町民に何を求められて存在しているのかを考えて形にしていくことが重要である。町民参加を推進するためには、町民に任せられる部分を任せられるよう、考え方を説明する行政のコミュニケーション能力の向上が必要となる。</p> <p>自治体経営の力を発揮するためには、マネジメント力を高めることが必要であり、改善から改革へ、問題意識から行動へと変換していかなければ、政策としての成果はでないと考える。様々な変化に敏感になり、情報をどのように活用していくかが重要であり、総合力を出すためのネットワークづくりを行うことで、戦略的行政運営に繋がると考える。</p>